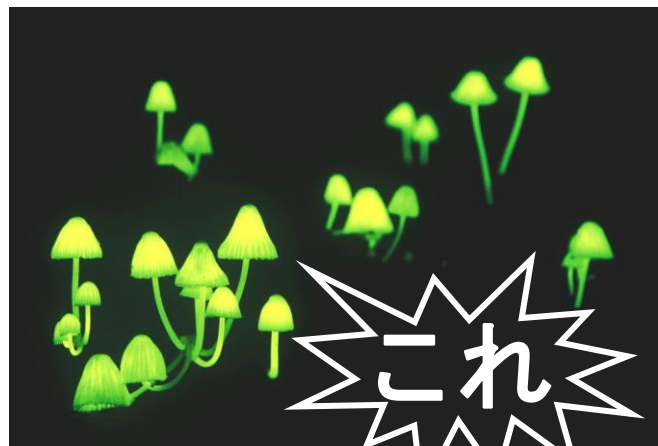


# シイノトモシビタケとは・・・??



「青みがかった緑色」に見えるが、「青白く」見えるという人もいます。全体的に光りますが、特に光り強いのは“ヒダ”の部分です。

キシメジ科クヌギダケ属に分類され、学名は *Mycena lux-coeli* (ミケナ・ルクスコエリ) です。

*Mycena* は「きのこ」、*lux* は「光」、そして *coeli* は「天国の」という意味のラテン語で、全体として「天国の光のきのこ」となります。

1954年ケンブリッジ大学のコーナー博士により命名されました。

シイノトモシビタケは1951年に八丈島で発見され、長年八丈島特産とされてきましたが、1995年に和歌山県すさみ町江須崎で発見されました。それ以降、紀伊半島、九州を中心に発生場所が確認され、ここ宇久井目覚山では2001年に発見されました。

多くの発生地はスタジイの大木が生えている森林（照葉樹林）ですが、スタジイの大木や老齢木が、なぜシイノトモシビタケの発生に都合がよいのか、理由はわかっていません。

その他、ホルトノキやヤマモモ、ヤマザクラ等の広葉樹でも発生します。九州ではサルスベリやヤマザクラからの発生もみられます。

外国では、発見されていないです。

# 目覚山では・・・??



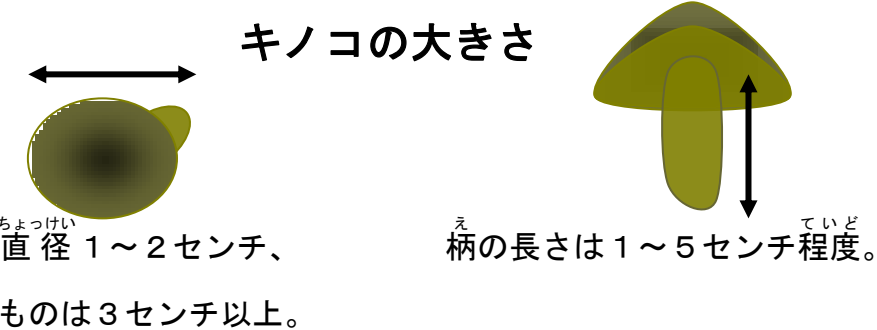
シイノトモシビタケが、まとまって発生する場所としては“NO.1”といわれています。一度に何百本も発生する時があり、他では味わえない幻想的な光景が見られます。スタジイの大木の密度が全体的に高く、倒木・落枝が多いため発生期間にはキノコが同じ場所で何度も見られます（寿命があるので、繰り返し発生します）。

例年5月10日前後から発生し、主に梅雨の時期に多数見られます。降雨が大きく関係しており、梅雨明け後、晴天が続くと一旦発生はしなくなります。しかし、台風や秋雨などで数日間雨が降ったときは、木に充分水が供給されるので、夏季以降でも発生します。これまでに最も遅い発生日は2005年10月18日と記録されています。また、平均気温が18~20℃前後になってから発生が始まります。

温度・降雨・湿度によって変わりますが、目覚山での観察では、キノコが成長し傘を開くまで2日間程度かかり、それからしおれるまでの期間は長くても5日程度と結果が出ています。



「ひるまのようす。シメジみたいでしょ？食べても毒はないそうですが、味はまったくしないみたいです。注意！むやみに採って食べないでください。責任はとれません。負いかねます。」



キノコの大きさ

傘は直径1~2センチ、

柄の長さは1~5センチ程度。

## なぜ光るの？



ホテルやホテルイカが光ると同じで、菌糸の中のルシフェリンという物質がルシフェラーゼという酵素によって酸化し発光します。

光ることによって虫をおびき寄せて胞子を体につけさせ、もしくはヒダごと胞子を食べさせて、虫の移動や脱糞と共に胞子を散布させているという仮説があります。ザトウムシやクチキコオロギが食べているところが観察されていますが、この仮説の証明には至っていません。他の光るきのこについても“光ることの意味”は研究中です。

## シイノトモシビタケの保護

これからもシイノトモシビタケの観察を続けるためには・・・

- ①落枝・倒木を壊さない、持ち出さない。
- ②林内の植生を踏みつけて壊さない。
- ③林内湿度を保つために低木や草を残しておく。光が射すような広い道はつけない。
- ④何がシイノトモシビタケの発生に関係しているのかわからないため、発生地全体を保護していく。など、人間の影響を限定的にし、そして保護活動をしていくことが必要です。

## 目覚山で見られる主な植物



ホルトノキ(板根)



スダジイの実



アオノクマタケラン



スダレギボウシ

シイノトモシビタケ<sup>いがい</sup>以外にも上記のような貴重な生物<sup>せいぶつ</sup>が多く生息<sup>せいそく</sup>しています。

### シイノトモシビタケ観察会

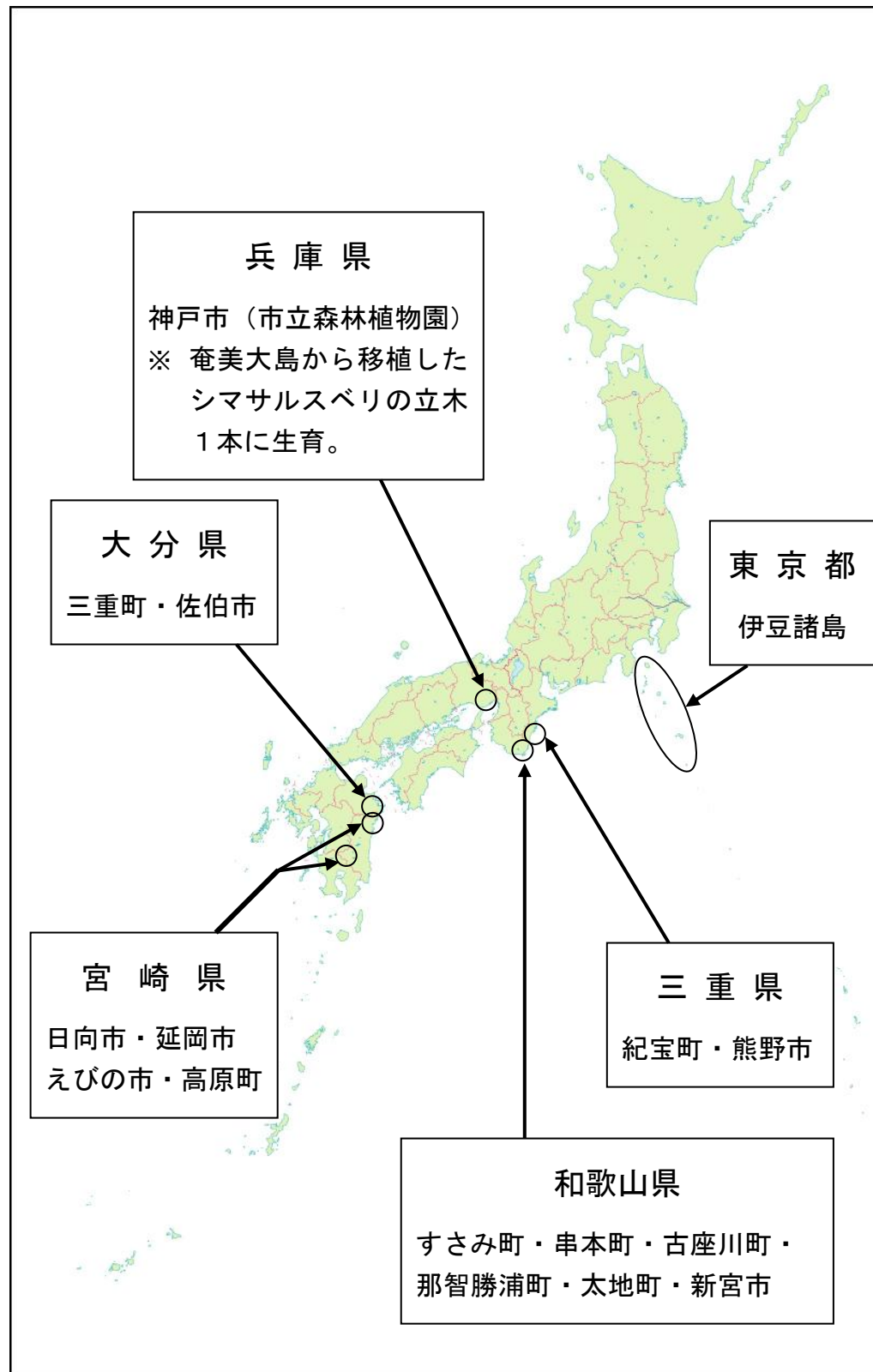
## 森の妖精に会いに行こう

夜の森でキノコ(シイノトモシビタケ)を探す自然体験をしてみませんか。ここ宇久井半島では、5月中旬から夏場にかけて多い時は数百本も発生し、全国でも発生数はトップクラスです。青みがかった緑色に発光するキノコは幻想的であたかも妖精のような姿です。

- 開催日時□ 5月中旬以降の土日曜日・9月の土日曜日  
午後7時半～
- 集合場所□ 旧那智勝浦町フェリーターミナル
- 参加費□ 大人 500円 中学生以下 300円  
※当日、現地支払い
- 持ち物□ 山歩きできる服装(長袖・長ズボン・運動靴)  
懐中電灯・雨具(雨天時)

□申込み・問い合わせ□  
宇久井ビジターセンターに2日前までに電話予約

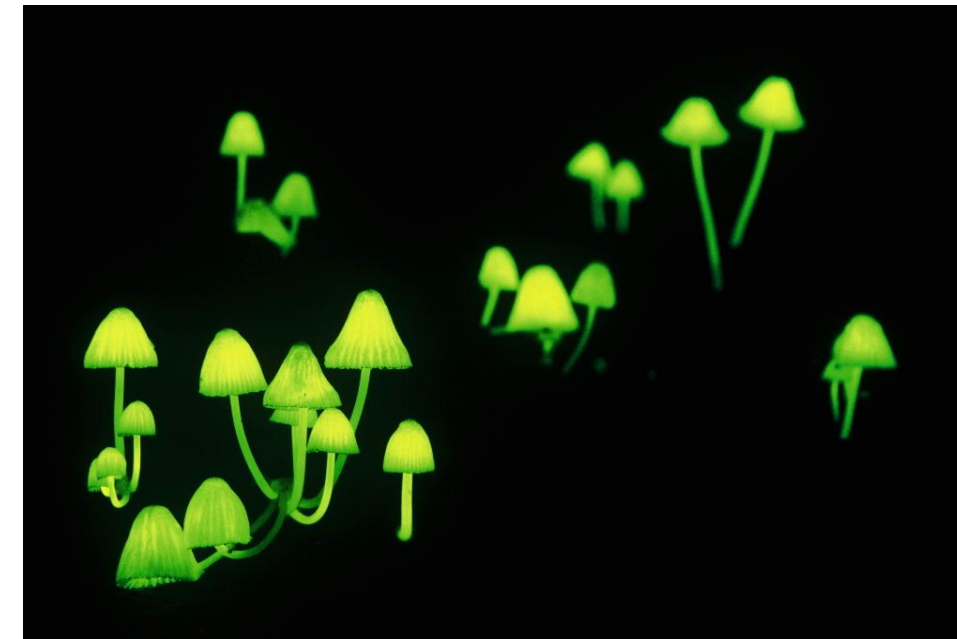
## これまでに確認された主な発生地



この他にも確認されている場所はあります。

# 森の妖精に会いに行こう

～森の環境とシイノトモシビタケの生態等を学ぼう～



## 宇久井海と森の自然塾運営協議会

〒649-5312 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町宇久井 830  
TEL 0735(54)2510・FAX 0735(54)1540  
<http://shizenjuku.syakuhati.com>  
E-mail ugui\_shizenjyuku@forest.ocn.ne.jp